

## ラック & ピニオン

**重要**

この度は、ラック & ピニオンをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しくお願い致します。

### 交換作業時のご注意

■ 輸送中の衝撃でピニオンシャフトのスプライン部、ラックエンド、ハウジング、フレアパイプ等が破損する場合がありますので、作業前にご確認下さい。

■ パワーステアリングオイル内、オイルライン内のスラッジをフラッシングにより除去して下さい。

■ コントロールバルブ内にスラッジが入ると異音又は、作動不良を発生させる可能性があります。スラッジが除去しきれない場合はオイルポンプの同時交換をおすすめします。

■ 各部ボルトの締め付けはメーカーの指定トルクで作業して下さい。

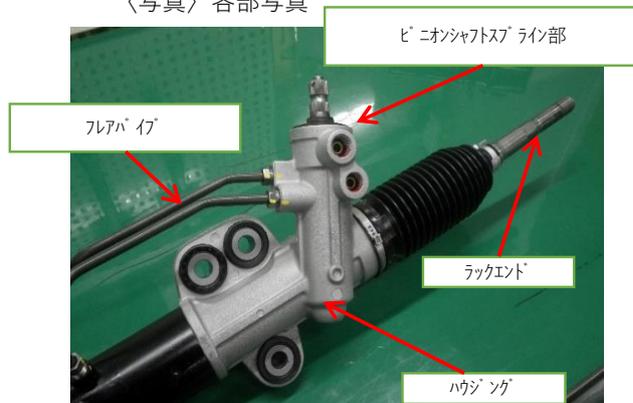
■ 車両側の高・低圧側ホースに亀裂、劣化、オイルポンプからオイル漏れ等を確認して下さい。

■ アクスル及びタイロッドエンド、アッパー、ロアーアームにガタがないことを確認して下さい。

■ 高・低圧ホースの付け間違い、フレアパイプに亀裂、損傷がないことを確認して下さい。

■ 取外したヨークは空転させないように固定して下さい。エアバックのセンサーを破損させる可能性があります。

〈写真〉各部写真



〈写真〉ヨーク部/エンドブーツ



■ 試運転後、パワーステアリングオイル量の点検を行って下さい。

■ 作業完了後はサイドスリップ調整を行って下さい。

■ 調整完了時、エンドブーツにねじれがないことをご確認下さい。早期亀裂、損傷に繋がります。

■ ステアリングホイールの位置を確認して下さい。

■ 返却の故品は同封のビニール袋へ入れて返却して下さい。

## トラブルシューティング

作業完了後、よくあるトラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですが、もう一度ご確認の程、宜しくお願い致します。

現象	原因と対処方法
オイル漏れをしている。	交換時漏れ出たオイルが本体に伝わり、オイル漏れと見間違える場合がありますので、再度清掃してからご確認下さい。
ハンドルの位置がずれている。	サイドスリップ調整と同時にタイロッドエンド調整をして下さい。